

日本初 加圧式石油ストーブ「SB型」が 日本機械学会の「機械遺産」に認定されました

一般社団法人日本機械学会(以下、日本機械学会)が認定する「機械遺産」に、株式会社コロナ(本社:新潟県三条市、社長:大桃満)が日本で初めて開発・販売した加圧式石油ストーブ「SB型」(以下、加圧式石油ストーブ)が認定されました。

「機械遺産」は、2007 年に日本機械学会の創立 110 周年を記念して設けられた事業で、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、機械技術に関わる歴史的遺産として次世代へ伝えることを目的とするものです。これまでに 126 件の機械遺産が認定されており、当社の加圧式石油ストーブは新潟県において 2 件目となります。

■ 加圧式石油ストーブについて

当社の創業者である内田^{てつえい}鐵衛が、安全で安価な軽油を使ったコンロの開発に独学で取り組み、1952 (昭和 27)年には、予熱パイプによる燃料の気化技術^{てつえい}を確立し、その翌年には無煙・無臭の青い炎で燃焼する加圧式石油コンロを完成させました。

その後、加圧式石油コンロで培った燃料の気化技術を石油ストーブへ応用し、1955 年(昭和 30 年)にコロナ^{ガス}瓦斯式石油ストーブ「SB型」として発売しました。ハンドル一つで操作できる操作性や高い安全性から徐々に人気を博し、同シリーズ発売 5 年後の 1960(昭和 35)年には、当社の石油ストーブ生産量は全国の約 30%のシェアとなるなど、当社石油暖房機の礎となった製品です。その後も、燃料の気化技術は、現代の石油ファンヒーター等の石油暖房機へ広く受け継がれ、生活の向上に大きく貢献しております。



■ 展示のご案内

機械遺産認定を受けた加圧式石油ストーブは、8 月 25 日以降に当社の技術開発センター1 階ロビーに展示を開始する予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社コロナ <https://www.corona.co.jp/>

〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号 TEL:0256(32)2111 E-mail:info@hode01.corona.co.jp

●報道機関からのお問合せ先 株式会社コロナ 総合企画部広報室